

平成30年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 1項 6目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策5 障害者福祉の充実

【会計】一般会計

施策1 障害に対する理解を促進します

3款:民生費 1項:社会福祉費 6目:障害者自立支援福祉費

事業	87	障害者理解促進事業
担当所属		障害福祉課

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,726千円	1,209千円	345千円	172千円		

【事業の概要】

事業の概要	市民が障害及び障害のある人について正しい理解を得られるように、様々な啓発活動や広報活動を推進します。 ・障害者差別解消法に関する啓発推進事業 ・障害に関する理解啓発事業 ・障害に関するシンポジウム、講座
事業の目的	誰もが相互に人格と個性を尊重し、認め合い、支え合う社会の実現を目指します。
事業の効果	障害や障害のある人への理解促進が期待できます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
謝礼金	326千円	障害者差別解消支援地域協議会委員謝礼金(4回)
講師謝礼	490千円	講演会講師料(14回分)
11 需用費		
食糧費	10千円	協議会に係る茶菓代(40人分)、講演会に係る弁当代(5人分)
印刷製本費	900千円	啓発冊子(1,000部)及び啓発パンフレット(5,000冊)の印刷代
計	1,726千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成30年度計画値
障害者差別解消法に関する啓発講座等実施回数	4回
障害者スポーツに関する講座回数	2回
障害に関する啓発事業実施回数(デリバリー講座)	8回
障害者差別解消法に関する啓発講座等参加人数	100人
障害者スポーツに関する講座の参加人数	100人

障害に関する啓発事業参加人数	100人
障害に関する理解度	-%